

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

### 《週報》

第3巻第17号

第17週(4月21日～4月27日)

発行年月日:平成15年(2003年)5月2日

発行:滋賀県立衛生環境センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (17週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (17週)	全国 (17週)	滋賀	全国
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	2	156	6	693
	パラチフス	0	0	10	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	147	14	3132
4類感染症	アメーバ赤痢	0	2	155	6	453
	エキノкокクス症	0	0	9	1	9
	急性ウイルス性肝炎	0	0	295	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	37	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	27	1	90
	後天性免疫不全症候群	0	3	272	6	888
	ツツガムシ病	0	1	38	0	329
	梅毒	0	1	149	4	561
	破傷風	0	1	21	0	105
レジオネラ症	0	0	42	1	166	

\* 平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

### 2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0.02	0.09	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	1.28	5.57	0.33	0	0	0	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.63	0.43	1.33	0.25	0.60	0.75	0.25	0.50	
感染性胃腸炎	7.50	11.14	15.17	8.25	1.80	2.50	0.25	9.00	
水痘	1.84	2.71	3.67	1.75	0.60	1.25	0.50	0.50	
手足口病	0.28	0.71	0.50	0	0	0	0	0.50	
伝染性紅斑	0.03	0	0	0.25	0	0	0	0	
突発性発疹	0.34	0.86	0.50	0.25	0	0.25	0	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0	0	0	0	0	0	0.25	0	
ヘルパンギーナ	0.09	0.29	0.17	0	0	0	0	0	
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.31	0.29	0.67	0	0.40	0	0.50	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	1.00	0	2.00	1.00	3.00	1.00	0	0	
急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	0	0	2.00	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

定点当たり患者数

### 3)今週のトピックス

#### 感染性胃腸炎の発生は増加傾向持続 SARSの累積「可能性例」報告数

定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病、流行性角結膜炎等の定点当たり患者数が増加しています。また、インフルエンザ、伝染性紅斑、流行性耳下腺炎等の定点当たり患者数は減少しています。

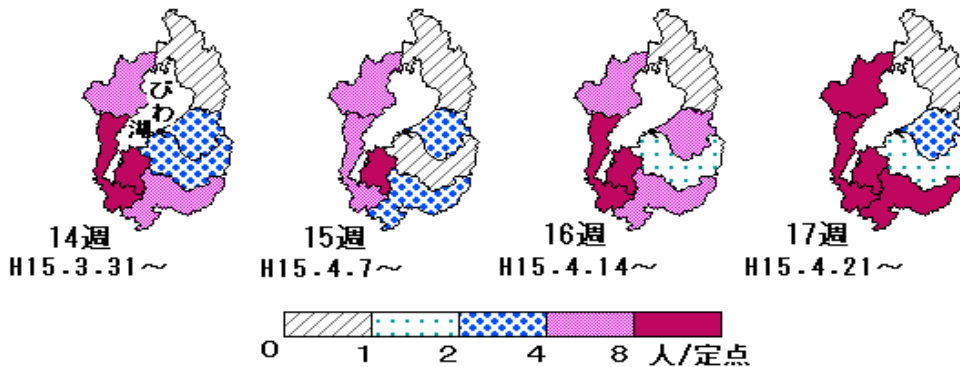
**インフルエンザ**については、定点当たり患者数は0.02となり、県内におけるインフルエンザの発生は減少しています。

**咽頭結膜熱**については、大津保健所管内の定点当たり患者数は先週に引き続き増加しており5.57となっています。また、全国の定点当たり患者数は、過去5年間の同時期と比較するとやや多くなっています。

**感染性胃腸炎**については、草津保健所管内の定点当たり患者数が15.17と多くなっています。また、大津、今津および水口保健所管内においても多くなっており、今後の発生状況に注意が必要です。

感染性胃腸炎の週別・地域別発生状況は下記のグラフのとおりです。

#### 感染性胃腸炎の週別・地域別発生状況(平成15年第16週)



#### SARSの累積「可能性例」報告数(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより)

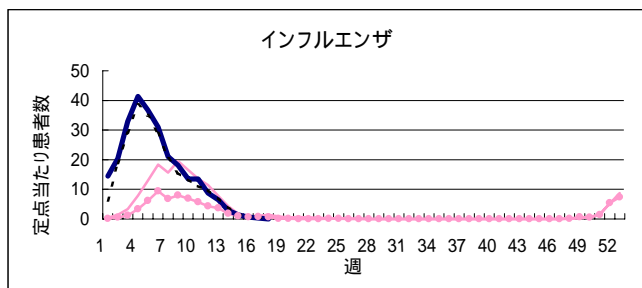
(平成14年11月1日～平成15年4月30日)

国名	累積症例数 <sup>2</sup>	WHOによる前回の更新以降の新規症例数 <sup>2</sup>	転帰		地域内伝播 <sup>4</sup>	最終報告日
			死亡者数	回復者数 <sup>3</sup>		
オーストラリア	4	0	0	3	なし	4月30日
ブラジル	2	0	0	2	なし	4月24日
ブルガリア	1	0	0	0	なし	4月24日
カナダ	148	2	20	87	有	4月30日
中国	3460	166	159	1332	有	4月30日
香港(中国特別行政区) <sup>5</sup>	1589	17	157	791	有	4月30日
マカオ(中国特別行政区)	1	1	0	0	なし	4月30日
台湾(中国)	78	12	1	25	有	4月30日
フランス	5	0	0	1	なし	4月21日
ドイツ	7	0	0	7	なし	4月30日
インドネシア	2	1	0	1	なし	4月30日
イタリア	9	0	0	4	なし	4月30日
日本	2	0	0	0	なし	4月30日
クウェート	1	0	0	1	なし	4月20日
マレーシア	6	0	2	3	なし	4月30日
モンゴル	6	1	0	3	なし	4月30日
フィリピン	4	0	2	1	なし	4月28日
アイルランド	1	0	0	1	なし	4月24日
韓国	1	0	0	0	なし	4月30日
ルーマニア	1	0	0	1	なし	4月22日
シンガポール	201	0	24	139	有	4月30日
南アフリカ	1	0	0	0	なし	4月9日
スペイン	1	0	0	1	なし	4月24日
スウェーデン	3	0	0	2	なし	4月23日
スイス	1	0	0	1	なし	4月21日
タイ	7	0	2	5	なし	4月30日
英国	6	0	0	6	有	4月30日
米国	52	11	0	未入手	有	4月29日
ベトナム	63	0	5	53	なし	4月28日
計	5,663	211	372	2,470		

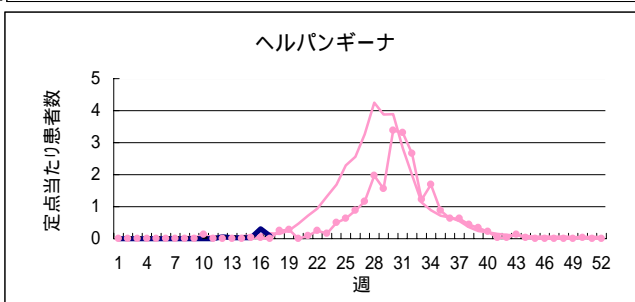
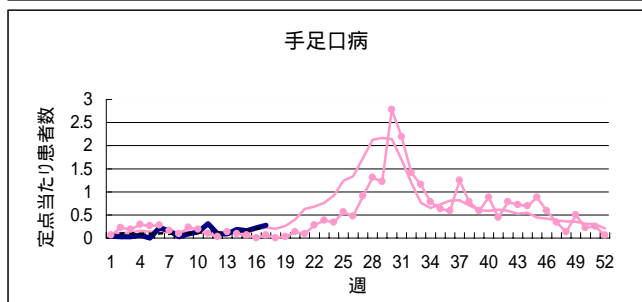
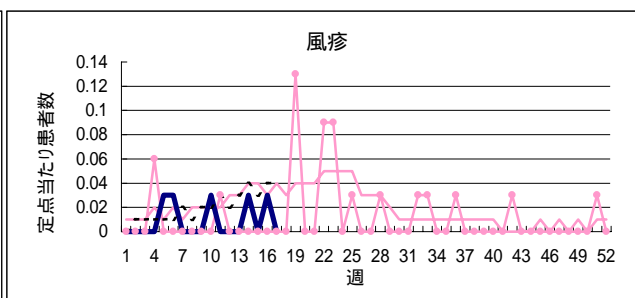
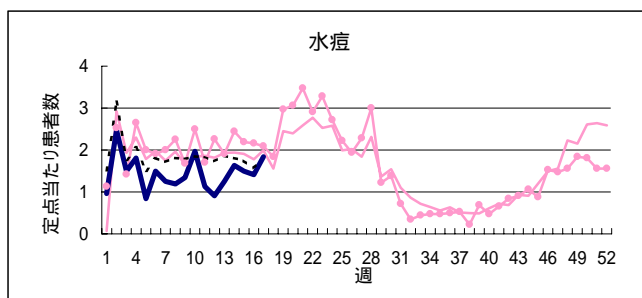
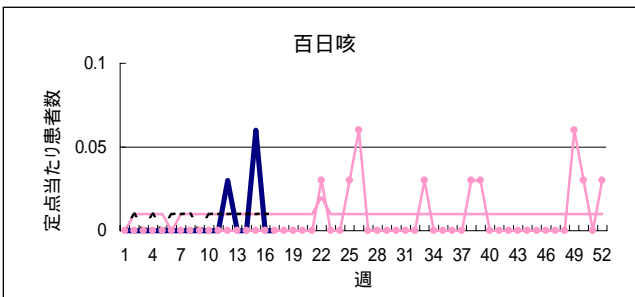
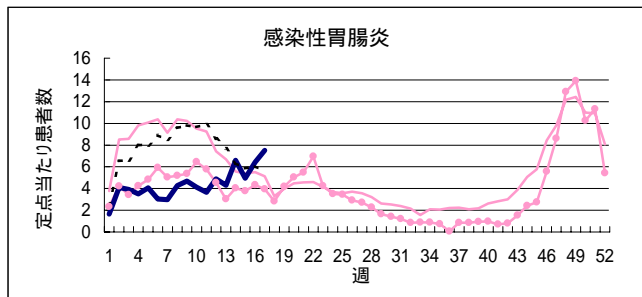
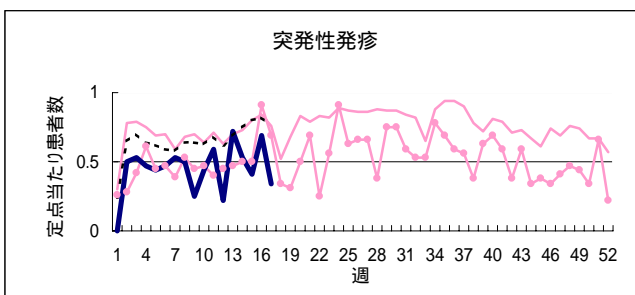
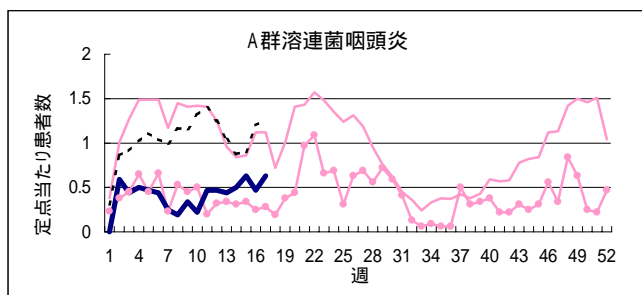
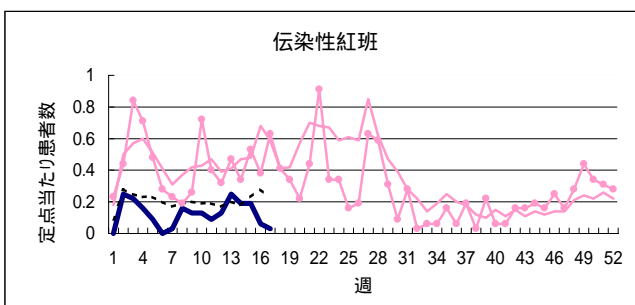
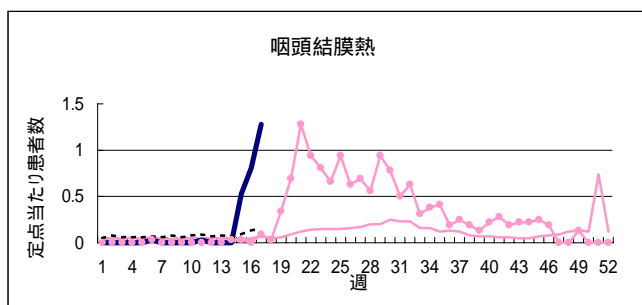
注：・累積症例数は死亡数を含む。  
・重症急性呼吸器症候群(SARS)は除外診断であるので、症例の報告状況は時々刻々と変わりうる。したがって以前に報告された症例でも、その後の調査と経過観察により削除される可能性がある。

- 1 現在はSARSと確認された中国の異型肺炎の症例を含めるために、サーベイランス期間の開始日を平成14年11月1日に変更した。
- 2 「累積症例数」の減少と、「前回と今回のWHOへの新規報告症例数」のあいだの矛盾は、(同期間に別な病因が判明し)取り下げられた症例数があることによって生じている。
- 3 各国の公衆衛生当局が、「退院」あるいは「回復」したと報告した症例を含む。
- 4 各国の公衆衛生当局は、地域内において感染伝播鎖の確認された地域をWHOに報告している。これらは、伝播確認地域のリストに示されている。
- 5 香港における死亡例はベトナムから医療移送された1例を含む。

## 疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第17週)



H14 { 滋賀 (pink line with dots)  
         全国 (light pink line)  
 H15 { 滋賀 (solid blue line)  
         全国 (dotted black line)



# 疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第17週)

H14 〔 滋賀 ●●●●●● 全国 ○○○○○○ 〕  
 H15 〔 滋賀 ———— 全国 - - - - - 〕

